

## 八幡浜国際 MTB レース 2015 UCI カテゴリー・C-2

BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM 平野 星矢

結果 2位

開催日 5月17日(日)

開催地 愛媛県八幡浜市 市民スポーツパーク

天候 晴れ

コースプロフィール / コンディション

前日の雨によって、レース当日もマッド・コンディション。やや回復しているものの根っ子の上は滑り易い。周回数は5周回。



写真：滝下泰民さん

### レポート

当日のアップでの感覚は悪い。ここ数日は昼夜通して眠気が抜けず、何だかかったるい。

UCI ポイントが懸かっている事もあり、できれば優勝をしたい。

しかし、やたら緊張したり、やたら眠くなったりと心は少々アンバランスだ。

スタートは上手くペダルキャッチをして走り出す。

横を見ると隣には時くんと健さんの姿。考えながら、今日のコンディションとロードの平坦区間を考え、

先ずは先頭の後ろに付いて様子を見ようと出力を少し落として後ろに付こうとするが、後ろに付く前に自分の進路側に切り込む形でコーナーに入ったので急ブレーキ。

上り手前で減速してしまったので、減速分と踏返し分で、反って無駄足と時間のロスを多くしてしまった。脚の調子も微妙なので踏返しは辛い。

シングル手前のアスファルトで少し踏んで前方へ上がって行くが、3番手で入ってしまう。

健さんが先頭で入ってしまった。何だか少し嫌な予感がする。

案の定、健さんが下りで抜け出し元気に走って行く。

シングルを抜けバック・ストレート時点で10→5秒のビハインド？

今日の体調と、健さんの下りの速さを考えるとあまり良い流れではない。2番手に上がり淡々と先頭を追う。

後半の根っ子区間は自分の苦手区間。アスファルトで追い付こうとした場合、脚の消費が激し過ぎる。

案の定アスファルト区間で追い付く事は出来ず、むしろ差は広がった気もする。

通称ゴジラの背中(根っ子区間)も上手く処理できず、さらに先頭との差は開いた。

こうなると追い付くよりもコースのリズムを掴むのが優先だ。先ずは根っ子の処理と踏返しのリズムを掴みたい。



写真：滝下泰民さん



写真：滝下泰民さん

2周目。前半フィードでボトルを取りたかったが、上手く伝わらずボトルを取り損ねる。

そのまま2周目は2位争いの3人パック？で進んで行く。パックでは先頭を走ってリズムと路面の情報を収集して行く。周回の前半は感覚的に悪く無い(テクニク的に)。

バック・ストレートを抜け、桜坂でボトルを受け取るが、下りで飛んで行ってしまった。

後半区間の根っ子区間はいまいちリズムが掴めないままだ。

トラクションの掛け方や抜き方を変える必要があるそうだが、僕の中にそのデータは少ない。とっ散らかりながらレースは進んで行く。





写真: Alisa Okazaki さん

3周目前半のフィード・エリア。ボトルケージを指差し、ボトルを飲むジェスチャーをするが、なかなか伝わらない。喉が乾いているのでジェルは結果的にはスルー。2人目のスタッフに掛け水を貰うが、直ぐにシングルに入ってしまう。一口飲んで身体に水を掛けてから、ボトルを地面に叩き付ける。欲しいのはこれじゃない！ フタ付きが欲しい。

武井さんが「俺の水をやるよ！」と話しかけてくるものの、もうシングル入っている事もあり丁寧に断りをしてシングルを進んで行く。



写真: Alisa Okazaki さん

何だかイライラしてきた。怒りに共鳴するように少しずつ踏む出力が上がって行く(感覚的に)。しかしそれと共鳴するように根っ子に弾かれる確率も増えて行く。

桜坂のフィードは無事ボトルを確保してレースは進む。

前半に抱いていた消極的な感情は消え、王蟲の怒りに近い感情でコースを進んで行く。何度となく根っ子に弾かれて、今の自分にはもう怒りしか感じる事が出来ない。

彼らともう少し調和とコミュニケーションを図りたかった、今の自分には彼らと理解し合う術が無い事を僕は悟った。



ストレスをペダルで表現したいが、今日の脚は表現力が弱い。シッティングが今回はクソなので、上りはダンシングで怒りを表現して行く。

4周目も同じ感じ。上りでもミスは多くなったが、もう怒りしか感じない。踏もうとした分、理解できない所でミスをする。それがまた腹立たしく感じる。

桜坂前に武井さんに話しかけられたが、とてもイラついていたので素っ気ない返事を返してそのまま踏んで行く。

奥のアスファルトの上りで武井さんが離れて来た。前周回から少々遅れ気味だったので、脚が無くなったのだろう。



写真: Alisa Okazaki さん

そのまま5周目・最終周回に入る。単独2位でコースを走る。結局最後まで根っ子とは友達になれなかった。

今の僕のコミュニケーション能力では彼らと意思疎通ができなかった。今後積極的にコミュニケーションを取って、彼らの事を理解していきたい。

2位でフィニッシュ。

今回は不可抗力もあったが、心技体もバランスが悪かった。

反省点としては、

1. 日本のレースに置いて、スタート時は不確定かつ不安定な要素が多い事を今回改めて感じた。今後は脚のコンディションと相談しつつも、より安全で安定した位置取りをする必要がある。
2. ウエット状況下での根っ子の感覚・走りを感じていく必要を感じた。もしオリンピック枠を2枠確保できた場合には八幡浜での選考会と雨という可能性もあるので、ウエット路面での経験と情報の蓄積を機会があればして行きたい。  
次のレースは2週間後に控えたJC-1 富士見大会。このレースはUCIポイントが懸かっていないので、気持ちリラックスして自分の走りを表現して行きたい。

#### 使用機材

バイク ANCHOR XR9(S サイズ)  
コンポーネンツ SHIMANO XTR(Di2)  
ホイール SHIMANO XTR  
フォーク SR SUNTOUR AXON 100mm(サンツアー) 75bal  
ハンドル SHIMANO PRO タルシス XC フラットトップバーDi2 バークランプ  
ステム SHIMANO PRO タルシス XC ステム 110mm -6°  
シートポスト SHIMANO PRO タルシス XC シートポスト Di2  
ケミカル [ホルメンコール](#)

サングラス アディダス イーブルアイ・ハーフリムプロ  
ヘルメット KABUTO(OGK)ゼナード  
グローブ KABUTO (OGK) EXG-3  
シューズ SHIMANO SH-XC90L  
ウェア Wave One

サプリメント SAVAS(明治製菓)  
SAVAS ウォーター ボトル4本  
ピットリキッド 2本  
パワーアミノ 2500 1本  
SAVAS プロ リカバリー プロテイン 1食分